

特別ふろく付き 夏の特大号第2弾

キヤツツ

Cats



浜藤真澄ふくろどめクリップ

7

2006
JULY

特別定価
780 YEN

Cats
& People

ルネ・ヴァン・
ダール・ワタナベ
さん

*好評連載!

- ✿ 猫雑貨「猫柄Tシャツ特集」
- ✿ こねこのグラビア「メインクーン」
- ✿ 猫種図鑑「シンガプーラ」

特集1

うちの可愛い子にできるかな?

猫だけで上手にお留守番

特集2
夏はとくに要注意&対策
ペットのニオイ
大研究

特別定価
780円 本体743円

Cats 7 2006

2006年7月1日発行 月刊キャッツ7月号 通巻392号 昭和50年5月23日第三種郵便物認可 発行/ペットライフ社 発売/緑書房

TOPIC

3本足のスピリチュアル・キャット ヘンリーの世界(前編)

NEWS



「僕の秘密のスポット。ここから、外を眺めるのが好きなんだ」



サイコセラピストであるキャッシーさん。ほかにも、マネージメントコンサルタント、パブリックスピーカー、ワークショップなど活動は多岐にわたります。

アメリカに、人々を救い続ける不思議な魅力を持った3本足の猫がいます。日々の生き方に悩む人や闘病中の患者まで、相談のメールは今までに8千通を超えるほど。その魅力と救われた人々のエピソードを、前・後編にわたって紹介します。



「窓によじ上るトカゲを見つけて遊んだり、外からの新鮮な匂いをかぐのが大好き。そして、みんなからの声を聞くのが僕の日課だよ。」

猫が苦手なふたりと 傷を負った子猫との出会い

2003年、カリフォルニア州サンディエゴの東にある小さな村ジュー

リアンで、大規模な森林火災が発生。

その村には、サンディエゴで共同生

活中のキャッシーさんとドナさんの

別宅もありましたが、運良く火の手

を免れました。彼女たちは、その別

宅を被害にあった人々に提供しよう

と思い立ちます。

その後、そこに住むことになった少女から、数匹の子猫を見つけたとの相談が。あまり猫と接しない犬派のふたりでしたが、少女が子猫の面倒を見るには賛成しました。

ある週末、ふたりが別宅を訪れるとき、1匹の子猫の姿が見当たりません。やっと見つけたとき、子猫は左足が肩からぶら下がり、今にもちぎれ落ちそうな状態だったのです。

「足を切断するしか方法はないでしょ。このまま放つておけば、傷口が悪化して命に関わります。安樂死もひとつの中ですが……」との獣医師の言葉。こうして、子猫は左足を失ったのです。

3本足でも元気いっぱい! 猫への“偏見”を拭つた純粹さ

手術後、子猫には住む場所と看病が必要になります。ふたりに、ある不安がよぎりました。家にはスタン



お気に入りのオモチャでハッスル。
3本足でもこんなに元気!

と
り
や
す
、
捕
ま
え
た
!!



もうひとりのママ、ドナさんは、婦人科のメディカル・ドクター。現在はリタイヤし、フィギュア・スクラブチヤー・アーティストとして活躍中。



キャッシーさん、ドナさんと、スタンダード・ブードルのドーリーがヘンリーの家族。

ダード・ブードルの「ドーリー」がいます。お転婆な彼女が、もし子猫を傷つけてしまったら?「猫は嫌い。だって、鳥を殺すから」と言ったキャッシーさんの母親の言葉も頭の隅にありました。それを聞いていたドナさんも、猫は苦手だったのです。悩んだ末、彼女たちはこの子猫を一時的に預かる決心をし、子猫とともに家に戻ってきました。すると、ふたりの心配をよそに、ドーリーは快く子猫を受け入れたのです。

子猫は、みるみるうちに元気を取り戻していました。遊び相手のド

ナード・ブードルの「ドーリー」がいます。お転婆な彼女が、もし子猫を傷つけてしまったら?「猫は嫌い。だって、鳥を殺すから」と言ったキャッシーさんの母親の言葉も頭の隅にありました。それを聞いていたドナさんも、猫は苦手だったのです。悩んだ末、彼女たちはこの子猫を一時的に預かる決心をし、子猫とともに家に戻ってきました。すると、ふたりの心配をよそに、ドーリーは快く子猫を受け入れたのです。

子猫は、みるみるうちに元気を取り戻していました。遊び相手のド

ナード・ブードルの「ドーリー」がいます。お転婆な彼女が、もし子猫を傷つけてしまったら?「猫は嫌い。だって、鳥を殺すから」と言ったキャッシーさんの母親の言葉も頭の隅にありました。それを聞いていたドナさんも、猫は苦手だったのです。悩んだ末、彼女たちはこの子猫を一時的に預かる決心をし、子猫とともに家に戻ってきました。すると、ふたりの心配をよそに、ドーリーは快く子猫を受け入れたのです。

子猫は、みるみるうちに元気を取り戻していました。遊び相手のド

ナード・ブードルの「ドーリー」がいます。お転婆な彼女が、もし子猫を傷つけてしまったら?「猫は嫌い。だって、鳥を殺すから」と言ったキャッシーさんの母親の言葉も頭の隅にありました。それを聞いていたドナさんも、猫は苦手だったのです。悩んだ末、彼女たちはこの子猫を一時的に預かる決心をし、子猫とともに家に戻ってきました。すると、ふたりの心配をよそに、ドーリーは快く子猫を受け入れたのです。

子猫は、みるみるうちに元気を取り戻していました。遊び相手のド

ヘンリーの不思議な物語 始まりは一通のメール

純真なヘンリーを見て、キャッシーさんは友人にこんなメールを送りました。

「左足を切断し、一度この世からなくなる運命にあったこの子猫は、何もなかつたかのように毎日を楽しんでいます。そして、私たちを信じてください。友人からは「犬派の家に猫もいいじゃない」など、たくさんの方の返信が届きました。するとそのなかに一通、こんなメールが――。

「ヘンリー君へ。君は私のことは知らないだろうけど、じつは私も『サバイバー』です」。ヘンリー宛てに送られたこのメールは、同じ3本足の猫「パンキー」からのものでした。このときはまだ、これがヘンリーの魔法の世界へ通じる扉だと、誰ひとりとして知らなかつたのです。

夏の特別ふろく

メールボックス

キヤツツ

Cats

Cats
&
People

飯星シンヤ
さん



カリフォルニヤ~猫の
メールボックス

8

2006

AUGUST

特別定価

780 YEN

*好評連載!

- ニャメール写真館
- 猫雑貨「和猫もので涼やか」
- こねこのグラビア「ヒマラヤン」
- 猫種図鑑「エジプシャン・マウ」

特集2

なぜするの? どう対策?
猫のツメとぎで
悩まない

特集1

にぎやか猫ライフを応援!

あつたか多頭飼い計画



3本足のスピリチュアル・キャット ヘンリーの世界（後編）

NEWS

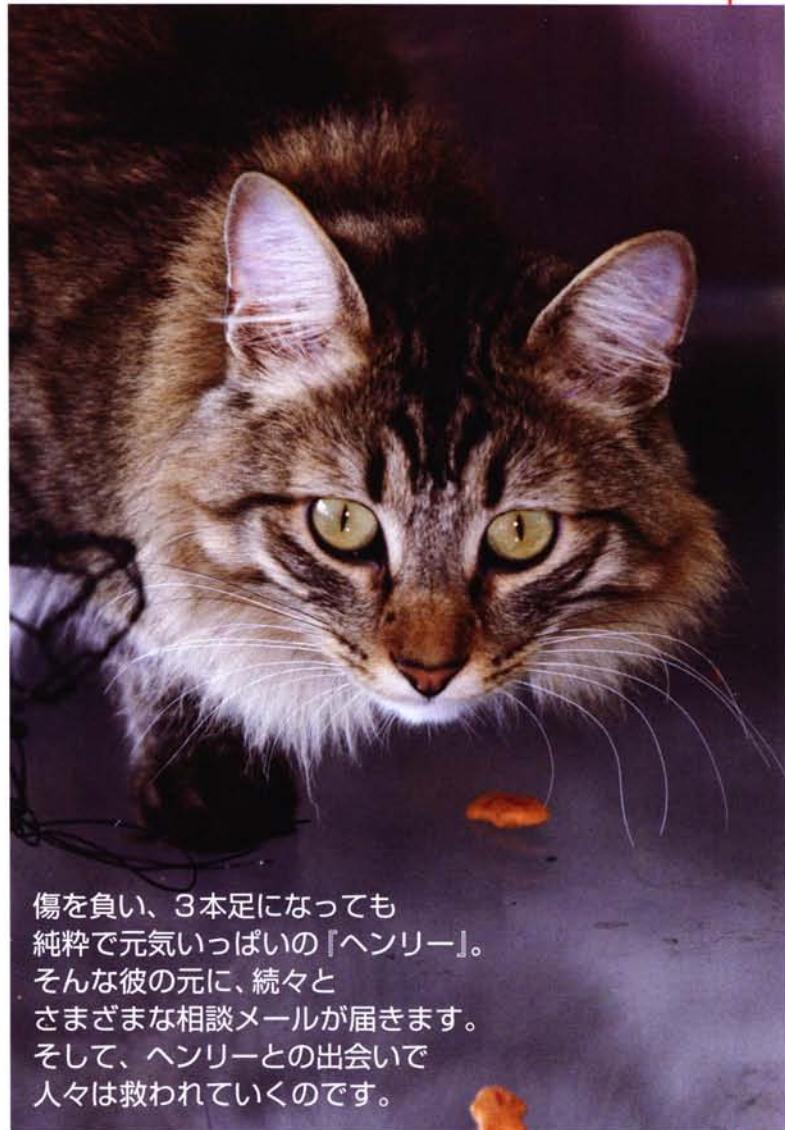
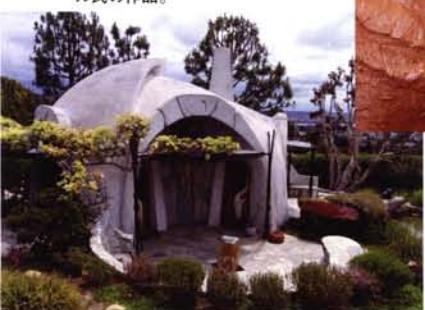


ヘンリーのママ、キャッシーさんと一緒に。

CASA DEL PUENTE／ブリッジ・ハウス。ヘンリーの住む敷地内にある、ジェームス・ハベル氏の作品。



ドクター・マムこと、ドナさんが作ったヘンリーのフィギュアスクラップチャヤー。



傷を負い、3本足になっても
純粋で元気いっぱいの「ヘンリー」。
そんな彼の元に、続々と
さまざまな相談メールが届きます。
そして、ヘンリーとの出会いで
人々は救われていくのです。

「自分の“ベスト”を見つけて生きようよ。Be just me！」

同じ3本足の猫「バンキー」から
のメールがきっかけで、ケガで一度
はこの世からなくなる運命だったヘ
ンリーの姿を、メールで多くの人に
送信するようになったヘンリーのマ
マ、キャッシーさん。ヘンリーの内面
から発する声と生のスピリットは、
今度は、日常の出来事から深刻
な相談まで、たくさんのメールがヘ
ンリー宛に届くようになつたので
す。身体にハンディを追いながらも、
正直に無邪気に生きるヘンリーの姿
が、人々を癒し、希望を与えていた
ようでした。

キャッシーさんとともにひとりのマ
マ、ドナさんは、ヘンリー宛に送られ
てくるメールから、多くの人々がヘ
ンリーを求め、助けを必要としてい
ることを知りました。そしてのちに、
ヘンリーの姿とメッセージ、人々か
らの声をまとめたメール・オーデッセ
イ（メール通信放浪記）「ヘンリー
ズ・ワールド」の出版に至ります。

この一冊の本が、助けを必要とする
人々や動物のライフサポートの根
となり、さまざまな場所でたくさん
の心つなげ、徐々にヘンリーの世
界がひとつ輪となり広がっていく
のです。

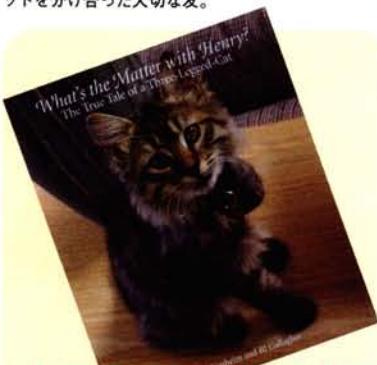
ひたむきに生きるヘンリーの
姿がネットや本で話題に
同じ3本足の猫「バンキー」から
のメールがきっかけで、ケガで一度
はこの世からなくなる運命だったヘ
ンリーの姿を、メールで多くの人に
送信するようになったヘンリーのマ
マ、キャッシーさん。ヘンリーの内面
から発する声と生のスピリットは、
今度は、日常の出来事から深刻
な相談まで、たくさんのメールがヘ
ンリー宛に届くようになつたので
す。身体にハンディを追いながらも、
正直に無邪気に生きるヘンリーの姿
が、人々を癒し、希望を与えていた
ようでした。

キャッシーさんとともにひとりのマ
マ、ドナさんは、ヘンリー宛に送られ
てくるメールから、多くの人々がヘ
ンリーを求め、助けを必要としてい
ることを知りました。そしてのちに、
ヘンリーの姿とメッセージ、人々か
らの声をまとめたメール・オーデッセ
イ（メール通信放浪記）「ヘンリー
ズ・ワールド」の出版に至ります。

この一冊の本が、助けを必要とする
人々や動物のライフサポートの根
となり、さまざまな場所でたくさん
の心つなげ、徐々にヘンリーの世
界がひとつ輪となり広がっていっ



肺ガンで亡くなったディー・キンダーさん。キンダーさんにとって、ヘンリーは、スピリットを分け合った大切な友。



[WHAT'S THE MATTER WITH HENRY?] (何か起つたの？ ヘンリー君)

ブレイクスルーブックス発行・出版
19.95ドル（送料別）

初のヘンリーのチルドレン・フォトブック（児童書）。ほかにも多くのヘンリーに関する出版物やグッズが発売されています。詳しくは<http://www.henrysworld.org>をご覧ください。



交通事故で片目と歯を数本失くし、2度の大手術で生還した元ホームレスキャットのチャンス。「チャンスにもう一度、生きるチャンスをくれた。そして、僕にもチャンスをくれた。人生を変えてくれたんだ」と、ヘンリーを語るオーナーのフライアン。



ドクター・ジョーとヘンリー。「僕は、ずっと側にいるよ」とコンタクトを送ったヘンリー。ヘンリーのくれる純真なやさしさに、ドクター・ジョーは励まされと言います。

元セニア・バイオロジスト・ドクターのジョーは、ヘンリーに出会ったことで家賃の支払いを手助けされ、無事愛猫たちと幸せに暮らしています。また、交通事故で傷を負った猫「チャンス」のオーナー、フライアンは、あてのない手術代をヘンリーから寄付され、チャンスを無事助けることができたのだそうです。

→→→ヘンリーに届いたメール←←←

「最近の私は、イライラした30代半ばの嫌な女だと愛猫にも思われていたみたい。ヘンリー君、勇気とユーモアをありがとう。アリゾナからたくさんの愛を送ります」
—ジュエラーより

「2年前に愛娘を亡くした命日である昨日、私は、また自分を見失ってしまいました。でもヘンリー君、

あなたは私を変えてくれました
一愛娘を亡くした女性より
(この女性は、孤独の世界に閉じこもっていましたが、現在、家族と向き合うようになったそうです)

「きっと、僕とヘンリー君は似た者同士だね。僕たちは、世界でいちばん近い存在じゃないかな」
一重い病に侵された10歳の少年より

「にいた彼女は、愛猫「エミー・ル」の名を借り、ヘンリーにだけはメールで全てを打ち明けていたそうです。
「私の最愛なる友だち。最後にやつとこうして会えましたね」。闘病中、ヘンリーと対面し、ともに時間を過ごしたキンダーさん。どんなに辛くても、最後まで強い精神で病気と闘つたそうです。
人々の魂にふれる、希望への道しるべ的存在、ヘンリー。やさしい光となつて周囲を包み、安らぎを与えるスピリチュアル・ヒーラーは、純真な心で私たちに語りかけ続けています。